

(株) CMC 総合研究所 元島栖二

物質の人体に対する有害性は、物質としての材料そのものによるのではなく、材料から発せられる波動（量子波）が身体の正常波動を狂わせるからであり、この異常波動を変調させることにより、有害性がなくなることをあきらかにした。例えば、現在、発がん性がある多量の有機フッ素化合物が水道水中に含まれているとして大きな社会問題となっているが、この有機フッ素化合物を取り除くのではなく、その波動を無害な波動に変調させれば、有機フッ素化合物を機械的に除去するために多大な予算を使わなくても、その有害波動を無害な波動に変化させれば、有害性はなくなる。CMC は高エネルギーのゼロ磁場エネルギーを発信しているのでそれが可能である。特に CMC の波動と勾玉の波動の相性が大変良く、両者を併用してハイブリッド転写すると、それが可能である。また、ハイブリッド転写した天然石は地磁気を非常に上げ、電磁波ストレスを非常に低下させることができる。右表は、

CMC と勾玉の波動をハイブリッド転写し

項目	塩素	フッ素	亜硝酸塩 亜塩素酸	酸化グラフェン	PFOS	PFOA	PFHxS	PFNA	PFAS	計
	ppm(mg/L)				PPT(ng/L)					
水道水(岐阜市)	0.3	0.4	0.5	30	17	14	20	3	15	47
CMC水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

た天然石球を水道水中に浸漬した際の有害成分の濃度を示している。すべての有機フッ素化合物や酸化グラフェンなどはすべてゼロとなっている。ゼロというのは、これらの有害成分がゼロというのではなく、波動がゼロであるということであり、物質としては存在している。

CMC と勾玉の波動をハイブリッド転写した天然石球は、MRI や MRA の測定室の高度の電磁波ストレス値を基準値以下にすることができる。これらの測定室は高磁場であるので、金属の持ち込

最先端医療機器(MRI、X線など高電流利用)での CMC/勾玉波動転写品の利用

<b>MRI</b> (Magnetic Resonance Imaging; 核磁気共鳴画像法)	
目的: 脳の断層撮影像を得る	
<b>MRA</b> (Magnetic Resonance Angiography; 核磁気共鳴脳血管画像法)	
目的: 脳血管の画像を得る	
検査室における電磁波ストレス(8-OH-dG)値:	地磁気 150mG
550,000ng(基準値<1ng)	
CMCスタビライザー80x1個の設置では、2個設置では、3個設置では	
8-OH-dG=5ng =0.8ng =0.3ng	600mG
CMC波動転写グリーン勾玉1個の設置では、2個の設置では	
8-OH-dG=0.6ng =0.3ng	770mG
CMC/勾玉ハイブリッド波動転写水晶製プレスレット(水晶球: 10mmφX18個)	
1個の設置では、 2個の設置では、	
8-OH-dG=0.6ng =0.3ng	770mG

有害人工添加物		使用前	使用后
有害性 糖尿病 発がん性	人工甘味料 ・アスパルテーム ・スクラロース ・アセスルファムカリウム ・サッカリンナトリウム ・ネオテーム ・アドバンテーム	X	○
有害性 発がん性 (タール色素)	合成着色料 ○色○号と記載された着色料は一般に摂らないこと。 衝動的、注意散漫といった行動要因、甲状腺に異常を生じる可能性などの危険性もある。 以下は、天然着色料なのでOK ・カラメル色素、クチナシ色素 ・アナトー色素、紅花色素 ・コチニール色素、ラック色素	X	○
有害性 発がん性 腸内細菌のへ悪影響	合成保存料 ・安息香酸 ・ソルビン酸 以下は天然由来でOK ・しらこたんぱく抽出物 ・ポリリジン	X	○

みはできないが、天然石であり金属でないのでも持ち込むことができ電磁波ストレスを防御できる。( ) 殆どの食品には、人工甘味料、合成着色料、合成保存料、防カビ剤など有害な化学物質が多数添加されている。また天然の野菜、果物などにも多数の農薬、除草剤成分、有機フッ素化合物が含まれているので、これらが無害化する必要がある。左図は冷蔵庫用食品活性化材の効果を示す。活性化材を使用しないとすべてXで有害であるが、活性化材を使用するとすべて丸印となり無害化されることがわかる。